

## 基本情報

施設名	有限会社 ルミエール企画 COSMOS 保育園
所在地	横浜市港南区日野中央 1-18-13
電話番号	045 (845) 5011
評価年度	平成 28 年度
評価機関	株式会社 R-CORPORATION

## 評価方法

<b>自己評価</b>	
(実施期間) 平成 28 年 4 月 23 日～ 平成 28 年 6 月 25 日	定例職員会議において、時間を取り、職員全員で読み合わせをして評価をする。
<b>評価調査員による評価</b>	
(実施期間) 平成 28 年 8 月 30 日 平成 28 年 8 月 31 日	評価調査者 2 名で、2 日間を通し、園内の視察、保育内容、子どもの観察、園長とのヒアリング及び書類確認により総合的に評価を行いました。1 日目、職員インタビューを実施し、お昼は幼児と食事を一緒に行い、食育の観察と共に保育士とのかかわりを観察しました。また、延長保育での子どもの様子を見学しました。2 日目は利用者本人調査を実施しました。
<b>利用者家族アンケート</b>	
(実施期間) 平成 28 年 7 月 11 日～ 平成 28 年 8 月 1 日	子どもの送迎時に、利用者に直接手渡しをし、説明して、期日までに 回収箱へ投函してもらい回収する。
<b>利用者本人調査</b>	
(実施期間) 平成 28 年 8 月 31 日	園から選定された 5 歳児 10 名を対象に、園長、担任が同席の下、保育室にて 20 分間、質問 6 項目のインタビューを実施し、意見を集計・分析し、子どもの姿を通じた園生活、保育士とのかかわり等を確認しました。0 歳～3 歳児は観察を通して調査を行いました。

# 横浜市福祉サービス第三者評価結果

COSMOS 保育園	
評価年度	28 年度
評価機関	株式会社 R-CORPORATION

領域Ⅰ 利用者本人(子ども本人)の尊重 領域Ⅱ サービスの実施内容 領域Ⅲ 地域支援機能  
領域Ⅳ 開かれた運営 領域Ⅴ 人材育成・援助技術の向上 領域Ⅵ 経営管理

## 評価領域Ⅰ 利用者本人(子ども本人)の尊重

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>I-1 保育方針の共通理解と保育計画等の作成</p> 	<ul style="list-style-type: none"><li>●保育理念・基本方針は、COSMOS 保育園の園是(理念)の1項目に、「子どもの最善の利益を確保し、その実現に努めます」と定め、保育理念と方針を周知し、配布しています。保育計画や年間・月間指導計画は、保育目標(ねらい)に沿って作成され、職員に十分理解を促し、保育の中で展開するよう心掛けています。また、職員会議の中で園内研修を設けて理解を深め、共通認識を図り、職員が意識して行動できるようにしています。</li><li>●保育課程は、理念・基本方針に沿って子どもの最善の利益を第一義に考えて策定しています。また、保護者の就労状況、家庭環境、周囲の環境を加味し、全職員で前年度の年間指導計画の反省を踏まえて作成しています。地域の状況の把握は、地域行事(日野中央公園の球根植え付け等)への参画を通して把握して保育課程に汲み入れています。保護者へは、園のサービス実施内容について重要事項説明書(入園のしおり)に明記し、入園時及び年度初めに全家庭に配布しています。</li><li>●保育課程に基づき、各クラスの指導計画を作成して保育を実践しています。指導計画は、毎年、年度末に引き継ぎと共に振り返り、「子どもが目を輝かせられる」保育を考え、実践に努めています。子どもたちへの説明および対応については、週の目標(大『ねらい』)と毎日の目標(小『ねらい』)に分けて取り組み、理解できる子どもには説明をしています。</li></ul>

## I-2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施



●入園決定後、入園前説明会と面談を行い、保護者から提出された児童票と個人別の問診票を基に、保育の中で配慮すべき体調面等を確認し、職員全体で子ども一人一人の情報を把握し、共通認識を図って保育に生かしています。入園後、子どもを観察した上で必要に応じて再度面談を行う場合もあります。COSMOS 保育園では、子どもに不安感を抱かないよう家庭の延長とした保育を目指し、職員は心がけて保育に当たっています。

●新入園児の受け入れの際は、短縮保育（ならし保育）を実施し、1週間から10日程度行い、子どもの個性や、保護者の状況に応じて臨機応変に対応するようにしています。子どもが心理的拠り所とする「物」の持ち込みについては可能とし、子どもの心の安定が図れるよう配慮しています。保護者への連絡では、0歳～2歳児は連絡ノートを利用し、家庭の様子や園の様子を毎日記録し、連携を密にしています。3歳児～5歳児はシール帳を活用して必要に応じて記入欄に記録しています。在園児への配慮では、子どもたちにいろいろな大人に接してもらいたいと考え、毎年担任を替える方針とし、保育室の設定では3歳～5歳児の保育室をパーテーションで区切り年齢別クラスの保育体制にしています。さらに、これまでの担当保育士、他の保育士とも馴染めるように工夫し、職員全体で一人一人の子どもを確認できるようにしています。非常勤職員については進級時に持ち上がるようにしています。

●指導計画については、基本的に月案、週（日）案できめ細かく修正・見直しを行い、園長、主任の評価も得、期毎、月毎に確認し、反映する体制を整えています。作成された指導計画は、園長・保育長・主任が確認後、職員会議で全職員に周知し、共通認識を図っています。保護者の意向、要望については、行事後に保護者アンケートを実施し、意向を把握し、できる範囲内で意見等を反映するよう努めています。

## I-3 快適な施設環境の確保



●園舎内は掃除専門のパート職員を配置し、朝（2時間）・夕（2時間半）の掃除の場所を定めて定期的に行い、園舎内を清潔に保っています。園舎内は通風・換気装置が設備され、空気の循環機能と共に、換気扇を常時稼働させて臭いにも配慮しています。また、園の周辺環境は緑の多い地域であり、木々の間を通して入る風は緑の香りを運び、天気の良い日は窓を開けて積極的に自然換気を行っています。各保育室には温度・湿度調整器を設置し、温・湿度の管理が適切に行われています。保育室は、東西に面した窓から適度な陽光が入り、西日についても反対側の建物で遮られ、年中快適な環境を確保しています。音楽や保育中の音について

は、園舎の2階以上はマンションになっていますが、音楽集会で子どもたちの元気な歌声や、音による苦情を受けることはこれまでになく、保育士も保育中は大きな声での対応は行わず、子どもが落ち着いて遊べる環境作りに努めています。

●沐浴については、必要に応じてたらいを使用して沐浴を行い、温水シャワーも活用して体の清潔を保っています。温水シャワーの設備は、0歳、1歳児保育室と2歳児の保育室の間にトイレと温水シャワー室を備え、清潔維持に努めています。温水シャワーは園庭にも設置され、各設備は使用后、その都度に清掃を行い、掃除専門のパート職員により毎日清掃を実施しています。

●子どもの発達に応じた環境作りでは、0歳、1歳児保育室、2歳児保育室、3歳～5歳児保育室の大きく3つの保育室に分け、子どもの発達過程や生活リズムに考慮して環境作りを行っています。0歳児は1歳児の保育室をサークルで仕切り、テーブル付きのベビー椅子などを活用して0歳児の子どもが遊べるように設定し、1歳児、2歳児保育室はマット等を敷いて小集団保育ができるように工夫しています。3歳～5歳児保育室は大きな部屋で保育を行い、通常はホワイトボードをパーテーションとして区切って年齢別の保育を行い、音楽集会や一斉活動の際は仕切りを外して大きな保育室として活用しています。寝食の分離では、1歳児保育室、2歳児保育室は食事と午睡の場所をそれぞれ確保しています。3歳～5歳児保育室では、各年齢で食事を摂り、食後、3歳、4歳児のスペースを掃除してから布団を敷き、午睡の場所を設定しています。

●園では、基本的に年齢別保育を実施していますが、保育室の造りは異年齢保育に適しており、毎日、3歳～5歳児保育室を開放して全園児で朝の音楽集会を実施したり、英語の時間も異年齢で実施しています。「音楽に包まれた保育園」がCOSMOS保育園の1つのコンセプトでもあり、音楽集会の他、日常保育の中でも音楽に触れる機会を作り、年1回は専門家の生演奏を親子で鑑賞する機会を設けるなど、特色ある保育を実施しています。

#### I-4 一人ひとりの子どもに個別に対応する努力



●0歳～2歳児にはついては、毎月、子ども一人一人の個別指導計画を作成し、「子どもの様子」、「ねらい・内容」、「保育士の配慮・援助」の3項目を設け、週ごとに結果等を記載し、職員間での共有を図っています。幼児についても、障害児や特別な課題のある子どもについては個別指導計画を立案し、3項目に家庭との連携項目を加えて共有しています。個別指導計画の見直しについては、定期的および、必要に応じて随時行い、新たな課題が生じた場合は、家庭と相談及び解決が図れるよう連携を密にして保育

にあたっています。個別指導計画見直しの重要部分（個別の離乳食の進め方、トイレトレーニング等）については、保護者と連携を図り、家庭での様子、状況に合わせてながら進め、同意を得て計画の作成・見直しを図っています。

●子どもの記録としては、面談票・保育経過記録・児童票を作成し、職員間で共有を図り、子ども一人一人の発達の過程に応じた対応をしています。記録は、必要に応じて職員が閲覧できる体制とし、園舎の2階のマッシュルームを事務室として書類等は保管・管理されているので、守秘は徹底されています。進級時の申し送りについては、方針を踏まえ、漏れのないよう徹底して行っています。5歳児クラスの担任は保育所児童保育要録を作成し、近い小学校には持参しています。

### I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み



●特に配慮が必要な子どもについて、日常的に個別の特記事項を記載および記録し、情報はパソコン上で共有しています。また、定例職員会議に園内研修とカンファレンスを取り入れ、共通認識を図り、全職員が対応できるようにしています。例えば、子どもが困っている場合について原因を究明し、過去の参考資料を基に対応するよう取り組んでいます。また、年2回、港南地域療育センターの巡回により指導・アドバイスを受け、助言内容は共有して保育に生かしています。

●障害児保育のための環境整備では、玄関までのスロープをバリアフリーで整備し、多機能トイレの設置や、全保育室はバリアフリーの1階フロアに配置し、環境を整備しています。関係機関との連携では、港南地域療育センター、港南区役所のケースワーカー、病院等との連携体制を構築しています。

●障害児及び配慮を要する子どもについては個別指導計画を立案し、個人別に保育にあたっています。職員は港南地域療育センターの研修に参加し、研修参加者から伝達研修により共有化を図り、全職員で知識を深めています。園では、統合保育を進め、保護者と話し合いの上、障害に応じた適切な診断の下、加配対象として対応する等、手厚い保育ができるよう取り組んでいます。

●虐待の定義は、虐待マニュアル、園内研修等で周知し、職員は十分理解しています。虐待予防・早期発見については、職員は、登降園時など親子関係に留意し、子どもの健康観察を丁寧に行い、見守り等が必要とされる子どもや保護者について配慮し、家庭の様子を聞く等、早期の対応に努めています。虐待の事例については、以前に港南区役所からの連絡にて対応したケースがあり、港南区役所のケースワーカー、南部児童相談所との連携体制は構築されています。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>●アレルギー疾患のある子どもには、「除去食申請書に対する主治医の意見書(生活改善表)」に従って、除去食の提供をしています。給食時は、色の異なる専用食器で区別し、職員間で連携を図り、気の緩みのないよう、誤食に注意徹底して対応しています。</li> <li>●文化が異なる対応については、現状、外国籍の子どもは在籍していませんが、多国籍の保護者(母親)についても会話に不自由はなく、込み入った内容の場合は父親が対応する等、意思の疎通は図られています。文化の違いによる食事や生活習慣、考え方の違いによる対応については、現在は該当しませんが、状況に応じて尊重し、対応する体制を整えています。子どもたちへは、保育の英語の時間を通して、外国の文化、言語、風習に触れる機会を設けて視野を広げています。</li> </ul>
<p>I-6 苦情解決体制</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>●苦情解決について、苦情解決に関する規定および苦情申出書を整備し、苦情解決責任者、受付担当者、第三者委員等を設置して明示しています。保護者からの苦情に関しては、「苦情申出窓口」の設置についての案内を配布及び掲示を行い、保護者に周知しています。また、保護者から要望や苦情が言いやすいよう、玄関に「苦情受付ポスト」を置き、保護者が参加する行事(年4回)後にアンケートを実施し、いただいた意見等は、職員会議で全職員に周知しています。意見を表明するのが困難な園児や保護者に対しては、職員から声掛けを行い、話しやすい雰囲気作りに努めています。</li> <li>●外部の権利擁護機関として、横浜市福祉調整委員会、神奈川県社会福祉協議会の運営適正化委員会、港南区役所の福祉保健センター等と連携し、第三者を交えて苦情解決にあたる体制があります。保護者には苦情案内の文書で知らせています。苦情や要望を受ける体制では、職員会議等で内容を周知し、話し合い、解決策をまとめて保護者に配布しています。過去にあった苦情・要望に関してはデータベースを蓄積し、問題解決と再発防止に生かしています。</li> </ul>

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>II-1 保育内容 [遊び]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>●子どもが自主的に活動できるよう、玩具は子ども（幼児）が見て分かるように配置し、手の届く場所に設置して自由に取りだしで遊べるようにしています。保育室のスペースを考慮しながら、自由に遊べる玩具を年齢別に揃え、子どもが飽きないように玩具の見直し・入れ替えをして提供しています。また、保育室のコーナー作りでは限られた空間にマットやパーテーション等で工夫し、環境設定をしています。</li> <li>●週案に、大ねらい（1週間のねらい）、小ねらい（その日のねらい）を記入し、自由遊び・一斉保育のそれぞれの計画を立案し、子どもにも示して理解を促しています。一斉保育では「鬼ごっこ」、「しりとりゲーム」、「ドッジボール」等を行い、保育士がルールを説明し、集団活動の中でルールを守って楽しく遊ぶことや、社会性を育てています。自由遊びでは、子どもがそれぞれの遊びに集中できるよう工夫し、環境を整えています。遊びに消極的な子どもには、何をしたいのかを聞き、意見を尊重しながら経験を促すようにし、また、子どもの発想の発展、気付きをサポートしています。</li> <li>●動植物の飼育や栽培の取り組みでは、栽培活動は八千代農園（法人代表の親族が経営）で農園実習を取り入れ、小さな頃から土に親しむ活動を行っています。1歳児は農園見学をし、2歳、3歳、4歳児は農園遊び、5歳児は耕作体験を行っています。農園では園児たちが育てたものの他、農家の方が作った空豆を収穫する体験もしています。園庭のプランターでも1歳～4歳児で植物の栽培体験を行い、2歳児はプチトマト、3歳児がオクラ、4歳児ではトウモロコシを栽培し、成長を観察し、食育につなげています。飼育では、保育室内（幼児）でカブトムシ、クワガタ、かたつむりを飼育し、子どもたちは成長の観察と共にカブトムシの絵を描いています。</li> <li>●園外活動では、日野中央公園、寺尾広場などが近隣にあり、自然が多く、草花や木々の緑に触れる機会に恵まれ、積極的に散歩に出かけています。散歩途中に出会う地域の人たちと挨拶を交わし、公園では子どもたちが歌を歌っていると高齢者の方などから「可愛いね」と声をかけてもらう等、地域の方々と触れ合っています。また、日野中央公園の管理事務所と交流があり、公園の行事には声掛けをしてもらい参加しています。</li> <li>●子どもが自由に自分の気持ちを表現できる機会として、園では</li> </ul>

「音楽に包まれた保育」を推進しており、子どもがいろんな歌を覚えて歌えるよう、週 3~4 回、朝の集会時に「歌の時間」を設け、全園児で保育士のピアノ伴奏で 3~5 曲楽しく歌い、気持ちを体で表現しています。知っている歌が増えると、自由に表現することができるようになり、子どもたちは元気に体を動かしながら楽しく歌っているのが確認できました。また、製作では、全園児共通で色鉛筆、クレヨン、お絵描き帳を用意し、廃材やチラシ等も自由に使えるように設定して、主体的に表現しています。5 歳児になると、お道具箱（はさみ、のり、マジック、水彩）を各自保有し、思い思いに自由に使っています。

●子ども同士のトラブルの場合は、保育士は子どもが自らの言葉で思いを伝えられるように援助し、危険がないよう見守りながら仲介するようになっています。特に、5 歳児については極力、子ども同士で解決できるように促し、相手のことを考え、解決方法を身に付けることで、異年齢の関わりの際に年長児として上手にコミュニケーションを図ることにもつながっています。トラブルについて双方で解決できない場合は、子どもの尊厳を念頭において諭すようになっています。

●健康増進の工夫では、天気の良い日には必ず散歩に出かけ、体育の時間では体育の専任講師の指導により運動能力の促進を行う等、健康な体作りに役立てています。戸外遊びでの紫外線対策では、襟足付き帽子を着用し、夏場は園庭に紫外線避けのシートを掛けて配慮しています。子どもの既往歴や健康状態は、保護者に確認後、子どもの体調に合わせて個別に配慮しています。

## II-1 保育内容 [生活]



●食事の盛り付けは、2 歳児までは厨房で盛り付けを行い、3 歳児以上はクラス担任が食事を盛り付けますが、子どもの負担にならないよう加減しながら配慮しています。乳児の授乳については、各家庭の授乳の時間に沿って提供し、授乳方法は家庭での抱き方（抱っこ、横向きかなど）を聞き、同じようにして授乳方法にも配慮しています。離乳食の進め方は、保護者と相談しながら個々のペースを尊重し、無理強いすることはせず、個別に進めています。

●園では、八千代農園での季節ごとの作物の収穫を活用し、食事は季節感のある献立で給食を提供しています。食事の関わりでは、3 歳児は各自、自分の食事を席まで運び、4 歳児以上は当番が他の子どもの分を配膳しています。食卓ではランチョンマットを用いるなど、食事の場としての雰囲気作りにも配慮しています。5 歳児の当番の役割については、当番カードを活用し、当番日の子どもに知らせています。



●毎月の献立は2週間サイクルとなっており、献立内容は季節感を取り入れ、旬の食材を提供し、素材の形状、硬さ・柔らかさなどは子どもの成長に応じて工夫して調理しています。お米に関しては厳選し、胚芽米を使用しています。食器は、安全性を考慮して強化磁器食器、瀬戸物を採用し、お椀はメラミン系の食器を使用して、年齢に沿って食器・食具の大きさを変えています。

●子どもの喫食状況については給食会議で話し合い、調理担当者はワゴンで食事を運ぶ際に子どもと会話をしながら好き嫌いを把握し、その日の食事の状況を確認して給食記録に記し、献立や調理の工夫に生かしています。例えば、盛り付けの色合いによる食欲との関連や、卒園や入園等におけるメンタル面の影響と食欲についてなども確認しています。調理師は、子どもたちに三色食品群の分類や、実際に調理して指導を行う等、身近な関係性を築いて食への関心・興味につなげています。

●献立表は、月末に各家庭に配布し、給食サンプル提示は特別メニュー時のみ設置し、通常の食事は写真撮影したものを掲示して保護者に知らせています。また、食材の産地表示を行い、レシピは自由に持ち帰れるようタイムカードの隣に置き、保護者へ食の興味・関心につなげています。給食の試食は、試食希望者に、保育参観（自由参観）後、主菜を中心に提供し、親子の集いや、茶話会などでも試食ができる機会を設けています。



●午睡時は、床暖房の心地良い温かみとオルゴールを流して睡眠環境に配慮し、家庭の生活状況を確認の上、その日の状態に応じて個別対応を行っています。眠れない子は、無理強いせず、落ち着ける場所で静かに過ごせるよう配慮して対応しています。SIDS 予防では、0歳児は5分ごと、1歳児は10分ごとにプレスチェックを行い、体位を変えるようにしています。年長児は、就学に向けて2月頃から午睡時間を無くし、徐々に生活リズムを作るようにしています。

●排泄については、保護者と連携を図り、個人差を尊重し、個々の子どもの排泄間隔を確認して個別にトイレトレーニングを進めています。排泄に失敗した際には、子どもの羞恥心に配慮し、子どもが安心するよう言葉がけにも配慮しています。

## II-2 健康管理・衛生管理・安全管理 [健康管理]



●健康管理は、健康マニュアルを整え、マニュアルに基づき健康診断（年2回）、歯科検診（年2回）を実施しています。子どもの健康観察・管理も丁寧に行っています。既往症のある子ども、子どもの特性については、児童票で確認して職員間で共有を図り、園での経過も記入し、緊急時に備えています。歯磨きについては、1歳児の6月から虫歯予防デーに併せて開始し、歯磨き指

	<p>導は歯科衛生士の来訪時にブラッシング指導を受けています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●健康診断・歯科検診の結果は記録を残し、保育に活用すると共に、保護者に結果および指摘事項等を連絡し、子どもの状態を理解できるようにしています。園医と連携し、健康診断、歯科検診の際に子どもの健康等に不安がある時は、保護者に質問メモを提出してもらい、園医より回答をもらっています。</li> <li>●感染症に関しては、入園のしおり（重要事項説明書）に登園基準、登園許可届等を明記し、周知しています。保護者に連絡する発熱目安は、平熱よりプラス1℃とし、悪化が予想される場合や38℃になった際は速やかにお迎えをお願いしています。感染症が流行した時には病気の留意点等を掲示して保護者に周知し、園内で感染者が出た場合は、状況を報告しています。感染症の最新情報は横浜市、港南区役所や、横浜市大久保保育園のネットワーク保育士から情報を入手し、情報は掲示しています。</li> </ul>
<p>II-2 健康管理・衛生管理・安全管理 [衛生管理]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>●衛生管理マニュアルは日常のおよび年1回、見直しを図り、衛生管理マニュアルに沿って園内研修を実施し、全職員で共有しています。清掃については、マニュアルに沿った清掃チェック表に基づいて実施し、園舎内の消毒についても朝夕の掃除専門パート職員の業務内容に組み込み、清潔な環境を確保しています。乳児の遊具は毎日、殺菌消毒剤で消毒し、トイレも定期掃除の他、その都度清掃し、清潔を保っています。</li> </ul>
<p>II-2 健康管理・衛生管理・安全管理 [安全管理]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>●安全管理では、園内外の事故を想定した対応マニュアルを整備し、職員に対してマニュアルに基づいた対応を周知し、月1回、火災や地震等を想定した避難訓練を実施しています。園舎は耐震構造であり、家具類は備え付けとし、低い棚を中心に配置しています。ピアノについては、耐震皿を設置して転倒防止を行い、安全対策を講じています。園内にAEDを設置し、職員は契約先の警備会社から災害時の対応と併せて救命救急法の研修を受け、緊急時対応に備えています。緊急連絡体制は、警備会社と緊急通報の体制を整え、保護者に向けては、ツイッター、緊急時一斉メール（G-MAIL）、園のホームページにて連絡ルートを整えています。</li> <li>●事故やケガについては、病院等の緊急連絡先リスト等を備え、安全管理に関するマニュアルには「軽微な園児の怪我、事故の記録用紙」があり、詳細に区分（不注意、友人同士のトラブル、保護者対応等）して記録され、大きなケガについては事故報告に記録して横浜市に報告する体制を整えています。事故については職員会議で報告し、事務室のモニターで現場状況を解析する等、防止策を立て、再発防止に努めています。園では、職員、保護者</li> </ul>

間で気兼ねなく話し合える園を目指す方針を踏まえ、子どもの事故に関して双方の保護者に伝えるようにし、改善策についても記録に沿って報告しています。

●外部からの侵入に対しては、玄関の出入口は登録者の「静脈認証」で開錠するシステムになっており、セキュリティは完備されています。また、静脈認証開錠システムは契約している警備会社に直結し、緊急体制を整えています。不審者情報は、警察（日野駐在所）、港南区役所からの防犯メールで情報入手し、日野駐在所からの見回りもあり、見回りの際は報告を受けています。

## II-3 人権の尊重



●COSMOS 保育園では、児童憲章を尊重した保育を実施することを心がけており、1～12 項目の内、特に、「一、すべての児童は、心身ともに、健やかに生まれ、すべての児童は育てられ、その生活を保障される。二、すべての児童は、家庭で正しい愛情と知識と技術をもって育てられ、家庭に恵まれない児童には、これにかわる環境が与えられる。三、すべての児童は、適当な栄養と住居と被服が与えられ、また、疾病と災害から守られる。」の3項を大切に保育にあたっています。職員は、子どもの人権に関する研修を受け、子どもの気持ちや発言を受け入れ、子ども自身が素直に気持ちを表せるよう、より良い保育に努めています。園では、子ども的人格・自尊心を傷つけるような保育は行わず、保育士も理解し、個人を尊重して保育にあたっています。

●子どもが友だちや職員の視線を気にせず過ごせる場所として、特に専用の場所は設けていませんが、パーテーションを活用したり、玄関ホールや医務室、ステージを必要に応じてプライバシーを守る場所として活用し、子どもの羞恥心にも配慮しています。また、子どもが潜り込める大きな箱を作り、一人で過ごせる場所として用意する等、工夫をしています。

●個人情報の取り扱いや守秘義務について、職員に対して、入職時に誓約書を提出してもらい、従事後も留意しています。保護者に対しては、重要事項説明書に記載し、特に肖像権については、個別に了解をとり、掲示及び掲載するようにしています。

●個人情報の取り扱いについては、個人情報保護規定があり、個人情報が記載されている書類は、事務室の鍵のかかる部屋で集中管理・保管しています。守秘義務については、園の約束ごと、意義や目的を職員、ボランティア、実習生に口頭で説明しています。

●性差に関する配慮では、遊び方や行事での役割、持ち物や服装での区別や、グループ分けや整列も性別で区別をすることはしていません。製作での色決めなども子どもが自由に選択できるようにしています。また、保育士は、父親・母親の役割を固定的に

伝えることのないよう、無意識の固定観念で保育をしていないか反省する機会を持ち、研鑽しています。

## II-4 保護者との交流・連携



●保育方針、園目標は、入園のしおり（重要事項説明書）に明記し、園だより、クラスだよりも記載して理解を促しています。また、保護者懇談会等でも方針・目標について説明を行い、親子の集いでは、園生活での様子や活動内容の動画を放映（年4回の集い内、1回目・4回目）し、放映後は意見を聞いています。保護者からは園での子どもの様子、生活がわかり、安心して子どもを預けられると喜びの声をいただいています。

●保護者との情報交換は、送迎時、連絡帳などで意見を聞き、子どもの様子を伝えています。長時間保育をする家庭には、漏れのないよう引継ぎを行い、遅番の職員が保護者に口頭で伝えるように心がけています。保護者から意見を聞く機会として、定期的に個人面談を実施し、要望に応じて随時面談を柔軟に行っています。


●保護者の相談については、園舎2階にある事務室を活用し、保護者のプライバシーを確保しています。面談は適切に対応できるよう、担当と主任など複数で対応するようにし、相談内容は守秘義務の下、記録しています。

●園生活に関する情報は、保護者に年間行事予定を年2回（前期、後期）配布し、園だより（COSMOS だより）、クラスだより（ミラクル通信）を定期的に発行し、また、行事ごと等で掲示する子どもの写真や、園のブログ、親子の集いで放映する動画等で保育内容を伝えています。日々の保育の様子については、クラスノートに記載し、保護者にサインを促し、必ず見てもらえるように工夫しています。

●保護者の保育参加・参観は、月、期間は特に設定せず、保護者が希望すればいつでも参加できるようにしています。保護者懇談会は全体・クラス別に状況に応じて実施し、参加できなかった保護者には必ず資料等を渡して説明をしています。

●保護者とは、各クラスの保護者代表が出席する運営委員会を設けて話し合いをしています。運営委員会は乳児の親子の集いと幼児の親子の集いの間に設定して保護者とのコミュニケーションを大切にしています。保護者会として組織はありませんが、保護者から場所の提供や職員参加の要望等があれば対応できる体制は整え、卒園の茶話会の打ち合わせでは保育園の部屋を提供しています。茶話会には保育士が招かれることもあり、交流を持っています。

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>III-1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>●港南区役所こども家庭支援課が推進する「保育園にあそびにきませんか」の広報リーフレットに育児相談や地域子育て行事を掲載し、園庭開放、交流保育の実施を通して地域の親子から園に対する希望や、要望・意見を聞いてニーズを把握しています。港南区は、港南中央・港南台・野庭の3つの地域があり、COSMOS保育園は港南中央のブロックにある保育園と協働して活動を展開し、地域の具体的な福祉・子育て支援サービスの情報・ニーズの収集をしています。協働開催の「冬フェスティバル」(港南スポーツセンターで実施)では役員として準備を担当し、地域の親子150組の参加がありました。</li> <li>●地域の子育てニーズについて、幼保小連絡会、園長会議、他保育園との協働活動で得た情報やニーズに関して、職員会議で話し合い、役立てています。地域支援サービスでは、交流保育、園庭開放を実施し、毎月のイベントカレンダーに示しています。育児講座等の開催では、地域の保育園協働活動での「冬フェスティバル」で相談コーナーを設ける等、港南中央ブロック全体の活動として取り組んでいます。</li> </ul>
<p>III-2 保育園の専門性を活かした相談機能</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域住民に対する園の情報提供については、ホームページやブログに掲載して提供し、「保育園にあそびにきませんか」の広報リーフレットを作成(年4回)し、配布しています。育児相談は、随時、電話で予約を受け付け、対応し、園見学の際にも育児相談も受け入れています。地域への保育園行事(運動会等)のお知らせは、町内会長経由で敬老会に開催の案内を行い、地域の民生委員、第三者委員にも案内しています。</li> <li>●関係機関との連携では、保育長が「港南マップ」を作成し、マップの中にわかりやすく関係諸機関、団体をリスト化し、連絡方法を掲示しています。関係諸機関との担当は園長とし、港南区保健センターの保健師、南部児童相談所、港南地域療育センターとも日常的に連携を図っています。</li> </ul>

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>IV-1 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p> 	<p>●地域への園の理解促進のための取り組みとして、行事(運動会)に近隣の方々、町内会、敬老会に案内し、園の取り組みや子どもの様子を見てもらう機会を設けています。地域の団体、機関との計画的な交流では、日野中央公園管理事務所との連携により日野中央公園の花植えや、和太鼓の演奏を通して交流を行っています。学校との連携では吉原小学校、日野小学校の学校見学に参加し、公開授業に参加する等、連携しています。地域の保育園との交流保育(年長児)では日野中央公園で時には拡声器、白線引きなどを貸し出しています。また、地域の幼保小との連携において、年2回総会に参加し、すこやか子育て講演会、公開保育、公開授業等で交流を図っています。</p> <p>●子どもと地域との交流では、港南区の文化・レクリエーション施設を利用し、日野中央公園や、プレイルーム、ログハウス(卒園遠足で活用)、子ども科学館などに出かけ、地域の様々な人と交流する機会を設けています。また、港南中央ブロックの保育園と交流保育を実施し、園児たちは様々な子どもと交流しています。地域の町内会行事にも参加し、8月第3土曜日の盆踊りには保護者と共に参加しています。園の英語の時間には姉妹園の「Poco a Poco」の園児も参加して一緒に遊んでいます。</p>
<p>IV-2 サービス内容等に関する情報提供</p> 	<p>●園のサービス内容・保育方針などの情報提供は、園のホームページやブログ、港南区役所に園のパンフレットを置き、パンフレットは園見学者や来園者にも配布し、必要に応じて保育内容・実費等の詳細説明をしています。育児支援のお知らせや保育園情報は、港南区子育て情報サイト、広報よこはま港南区版にわかりやすく情報が提供されています。また、「こうなんまっぷっぷ」(港南区子育て情報まるごとガイド)にも掲載しています。入所案内の広報誌や、「ヨコマハはびねすぽっと」にも情報を提供しています。</p> <p>●園への問い合わせや見学に対しては、常時対応できる体制を整え、見学希望者にはパンフレットを渡し、サービス内容の説明をしています。園見学の曜日や時間は見学希望者の都合を聞いて柔軟に対応しています。</p>
<p>IV-3 ボランティア・実習の受け入れ</p> 	<p>●ボランティアの受け入れでは、中学生、高校生の職業体験学習や、園を卒園した方の本の読み聞かせ等を受け入れています。また、横浜市社会福祉協議会が運営する横浜市ボランティアセンターに募集を申し出ています。身近なボランティアでは、八千代農</p>

	<p>園のオーナーから園児の農業指導や農園側の作物の収穫の提供や、植物の提供をしてもらったり、職員の家族（保育学科在籍）が園に手伝いにきてもらう等、身近な関係者からも協力をいただいています。ボランティア受け入れでは、受け入れのための手引きを用意し、手引きに沿って確認事項等を口頭で説明しています。ボランティアの意見は日誌に記録し、運営に役立てています。</p> <p>●実習生の受け入れ体制は、実習生受け入れのための手引きを整え、担当者は園長、保育長とし、手引きに基づいて確認事項等を口頭で説明を行います。実習では、学校の意向の確認をし、部分実習、責任実習について本人の希望も聞き、担当者を決めて実習が効果的に行われるようにします。実習最終日には反省会を設けて職員と意見交換の機会を設け、園の運営に反映するよう体制を整えています。今年度、受け入れの予定でしたが、依頼のあった大学側の都合で見送りとなり、今後、積極的に実習生の受け入れを行っていきます。</p>
--	---

評価領域 V 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>V-1 職員の人材育成</p> 	<p>●COSMOS 保育園は、法定の人員構成より多めの人員体制で保育を実施し、さらに、厚い人材構成での運営意向を持ち、補充を常に検討しています。人事管理については、人事の考課制度を固め、キャリアパス計画も策定し、キャリアパスを確立しています。研修計画および職員の教育では、階層別研修計画を策定し、初任者・中堅者・主任、経験値の高い職員の3階層で企画し、全体研修も実施しています。また、振り返りの実施、研修への参加で保育の質の向上を図っています。</p> <p>●職員、非常勤職員の研修体制については、内部研修は全体職員会議の中で園内研修を定期的に組み入れ、非常勤職員も含めた全職員で実施し、共通理解と資質向上に努めています。外部研修については、各職員の希望、園長の勧めの両面で研修内容・参加を決定しています。園長は、外部研修に参加する際は、事前に講師の著書や下調べをして参加するよう指導し、成果の上がる研修とするよう促しています。研修参加後は、研修報告を行い、伝達研修にて職員で共有し、保育に生かしています。</p> <p>●非常勤職員の配置や業務内容については、常勤職員との組み合わせを考慮し、必要な知識・情報を提供し、職員間で情報共有を図り、非常勤職員の指導および、連携に努めています。園長は、非常勤職員の家庭背景を考慮しながら園内研修の充実を図って</p>

	<p>質の向上に取り組んでいます。</p>
<p>V-2 職員の技術の向上</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>●サービスの評価では、人事考課および、毎日の日誌で日々の保育を振り返り、毎年、保育士は自己評価を実施し、保育における「質の高い対応」について考え、課題を明確にし、全体の活動につなげる仕組みを作っています。外部から保育の技術の評価・指導等は、保育の専門講師、英国人の英語講師を導入し、保育士も研鑽しています。</li> <li>●保育所の自己評価は、園の理念や保育の方針、保育課程に沿い、年間指導計画に関するねらいに沿って振り返り、課題を明らかにして改善に努め、今後の保育につなげるよう話し合っています。</li> <li>●今年度、COSMOS 保育園は第三者評価を受審し、職員全員が自己評価票に自己の振り返りと共に取り組み、園長、保育長が中心となり職員会議等で話し合い、園全体の現状を把握し、改善課題を抽出して取り組み、保育所の自己評価結果は公表する予定でいます。</li> </ul>
<p>V-3 職員のモチベーション維持</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>●園では階層別の人事考課制度を定め、期待水準を明文化し、職務権限規程を設定しています。職務権限規程には詳細に管理職等の規定を定め、園の円滑な業務につなげています。職員からの業務提案では、職員会議に園長も出席して職員の提案を聞き、改善につなげています。人事考課制度による園長との面接の際は、個々の希望、各保育士の意向を聞き、満足度も把握しています。</li> </ul>



評価分類	評価の理由(コメント)
<p>VI-1 経営における社会的責任</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>●守るべき法・規範・倫理等は、就業規則、服務規程に明文化され、職員に周知徹底しています。職員は、保育士会の保育士倫理綱領や就業規則を遵守し、都度確認するよう努めています。経営、運営状況等の情報は、要望があれば公開可能としています。コンプライアンスに関しては、マスメディア等から不適切な事案を取り上げ、ヒヤリハットも含めて職員会議で話し合い、職員は守るべき規範について再確認しています。</li> <li>●環境整備では、ヨコハマ 3R 夢 (スリム) 方針を意識し、ゴミの減量化と分別に取り組んでいます。省エネ対策としては、節電や、スポット電球を LED に交換し、冬場の午睡時はエアコンではなく床暖房を活用し、窓を開けて自然換気を推進するなど実践しています。緑化推進では、園庭のプランターに花を植え、栽培を楽しみながら緑化をすすめ、夏はゴーヤのグリーンカーテンで工夫しています。また、牛乳パック等の廃材を利用して製作活動に活用する等、エコ化に取り組んでいます。ゴミは業務委託で産業廃棄物回収専門事業者に出しています。園長は、日常から物を大切に使うことを指導し、自然を愛すること環境配慮について伝えています。</li> </ul>
<p>VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>●保育所の理念や基本方針は掲示して、常に目に触れるようにしています。園長は、年2回の人事考課面接を通して、職員に保育理念や基本方針の理解度および取り組みについて確認し、意識統一に努めています。</li> <li>●重要な意思決定の該当事項については、決まり次第、理由事項を添えて説明し、文書を配布して理解を促す体制を構築しています。今回、姉妹園である「Poco a Poco」の小規模園への改組により、一部の受け皿のため COSMOS 保育園の園庭の拡大計画があり、横浜市の申請、認可が決定し次第、重要な決定事項として職員および保護者に十分に説明する予定にしています。</li> <li>●主任の育成に関しては、主任の職務分掌を明文化し、研修プログラムに則って主任研修に出席してもらい、次期を任せられる職員の育成を心がけています。職員のシフト表に関しては保育長が作成し、年休予定は園長が原案を作成する等、分業を図り、職員の書類チェックに関しては主任と保育長が確認して園長に提出しています。主任と保育長は各保育士からクラスの様子を把握すると共に、保育士の悩みや相談を受け、心身の状態に配慮し、クラス会議に参加して助言・指導を行っています。園長は、必要に</li> </ul>

	<p>応じて主任・保育長から報告を受けて相談に応じると共に、子ども、職員の健康に配慮し、円滑な園運営に尽力しています。</p>
<p>VI-3 効率的な運営</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>●事業運営に影響のある情報については、港南区内の園長会議、横浜市・港南区役所からの情報、「保育界」（定期購読）の購読、よこはま福祉ナビ等から収集に努めています。また、横浜市の監査の指導・指摘、会計監査の指摘、日々の各クラスにおける課題についても職員に周知し、改善に努めています。さらに、保育運営面での重要な改善課題について園全体で取り組むことが重要と考え、職員に周知を図り、理解を促しています。</li> <li>●園の将来の構想については、書類で示す中・長期計画書までには至っていませんが、運営代表者として中・長期的目標や構想を持ち、次代の組織運営に備え、運営やサービスプロセスの新たな仕組みを考え、人事的な準備を整え、次期後継者の育成を進めています。認可事業を踏まえながらも中・長期計画を作成し、その中で重点改善課題等の修正を図り、まずは立案・策定を実行されることを期待しています。外部の機関や専門家等からの意見については、法人の税理士の助言、関係者の意見を取り入れ、よりよい園運営に生かしています。</li> </ul>

## 28年度 利用者（園児）本人調査結果報告書

COSMOS 保育園

(株)R-CORPORATION

*調査日程	観察調査	平成28年8月30日・8月31日
*保育観察	調査員2名で全クラスの視察、観察を行いました。1日の生活の保育観察を行い、朝の音楽集会、英語の時間、午睡の様子などの保育観察を継続する中、食事(訪問日1日目)を園児(4歳、5歳児)と一緒にいき、保育士、園児の様子観察を行いました。調査訪問初日当日は台風10号の上陸が予測され、午前中は雨で散歩に行くことはできませんでしたが、外遊びの観察については、プール遊びを観察しました。翌2日目は英語の時間を見学しました。	
*利用者本人調査の方法	本人調査では、4歳児、5歳児対象に園から選ばれた4歳児5名、5歳児5名を2回に分けて各15分、質問6項目のインタビューを実施し、一人一人の意見を聞き、集計・分析し、子どもの姿を通して園生活、保育士との関わり等を確認しました。また、大きく項目を分け、遊び中心とした保育園での生活、食育を通じた子どもの成長と家庭との連携、社会生活の面について考察し、各年齢については1日の保育の観察を通してそれぞれの特徴を捉えて記しています。	
*本人面接の属性	4歳児：男児2名・女児3名 / 5歳児：男児2名・女児3名	

### 利用者（園児）本人調査結果

#### 1. 【保育園での生活】

COSMOS保育園は、玄関入り口の右側に医務室と受付があり、先に3歳～5歳児の大きな保育室が設けられ、並んで左側には1歳児（含む0歳児スペース）、2歳児の保育室がそれぞれあります。園庭は、コンクリートの上にゴムチップが敷きつめられ、砂場と鉄棒の設備があり、夏には大小3つのプールを設置して子どもたちは元気に遊んでいます。3歳児～5歳児の保育室は、通常ホワイトボードのパーテーションで仕切られ、年齢別の保育を実施していますが、朝の歌の集会、雨の日の室内遊び、発表会などの時には仕切りを外して活動しています。4歳児、5歳児の本人調査では、子どもたちに「好きな遊びはなんですか」と聞いてみると、4歳児は、「おままごと」、「お絵描き」、「ブロック」などが挙がり、5歳児では「プール」、「レゴで乗り物を作ること」、「恐竜の人形遊び」、「砂遊び」、「泥んこ遊び」など、活発な意見が聞けました。COSMOS保育園は日野中央公園が隣接しており、散歩でも公園に行くと自然に触れ合いながら遊び、地域ブロックの他保育園の子どもたち

との交流をする機会も多く、近隣の人たちや日野中央公園管理事務所との交流もあり、子どもたちにも地域との関わりを大切にして保育の中に取り入れています。

## 2. 【食育に関する保育】

食育では、近隣に農園を借り、小さい時から土に親しむ機会を多く持ち、5歳児では耕作体験を実施しています。1歳～4歳児はプランターで植物を育て、2歳児はプチトマト、3歳児はオクラ、4歳児ではトウモロコシを立派に栽培していました。農園では園児が育てた農作物の他、農家の人が作った空豆を採らせてもらう体験もしています。専任の栄養士、調理師は子どもたちとの交流も活発であり、一緒に食育活動（三色栄養素など）を行っています。インタビューでは、子どもたちに「好きな食べ物は何か」を聞いてみると、4歳児では、「白いご飯」、「スープ」、「シチュー」が好きなようで、5歳児は、「八宝菜」、「ハンバーグ」、「ステーキ」、「お肉」、「サラダ」、「カレー」、「シチュー」が好き、と多くの献立が挙がりました。5歳児は、「ご飯は美味しい」、「全部食べる」、「お代わりをする」と得意気な表情で話してくれる等、成長が著しい年齢でもあり、お肉やしっかりした食事内容が挙がったのも特徴でした。食事に同席し、調理師が給食のワゴンを引きながら子どもたちと和やかに談笑しているのが印象的であり、子どもたちも穏やかな雰囲気の中、食事をしっかり摂っていました。

## 3. 【社会生活について】

社会生活では、園の近隣には散歩に行くのに好適な場所が沢山あります。日野中央公園を始めとして、町内会館がある寺尾広場、大北公園、寺尾公園等に出かけています。特に、日野中央公園は第2園庭のように積極的に活用しています。また、日野中央公園管理事務所と交流があり、日野中央公園の花植えでは声をかけてもらい子どもたちが参加し、地域の方々とも交流があります。散歩先では、行き交う地域の方々や他園の子どもたちにも元気に挨拶をしています。保育士とのコミュニケーションでは、インタビューから、「トイレに行くとき先生（保育士）には言うてから行く」、「公園に行く前にはトイレに行ってから出かける」との答えがあり、トイレ習慣はきちんとルールを守って身につけていました。ケガなどについては、転んだり、ぶついたりした場合は、先生（保育士）に伝え、処置をしてもらい、絆創膏を貼ってもらうなど、保育士も留意しながら声掛けを行い、不意のケガにも対応しています。先生（保育士）については、子どもたちからは「先生（保育士）は好き」、「先生（保育士）はやさしい」、「悪いことをした時は怒ると怖い」などの意見があり、子どもたちは先生（保育士）に親しみ、信頼して園生活をおくっているのがわかりました。園長先生については、朝の歌の集会では園長先生が指揮を行い、子どもたちは親しみを持って接し、子どもの調査からも「話したことがある」、「やさしい」という言葉が返ってきました。調査訪問2日目には英語の時間を見学し、講師はキングズイングリッシュの発音で歌も交えて子どもたちに教えている時間を観察しました。レッスンは0・1・2歳児、3・4・5歳児、そして5歳

児単独の3部制で実施されていました。英語の時間の中では、園長や保育長が小道具等でサポートを行い、子どもたちと交流しながら英語を挟みながら楽しく行われていました。また、農園実習を通して、畑のオーナーから子どもたちへ自然の話を聞かせてもらう機会がある等、子どもたちは、保育士や周りの大人の人たちを通して社会の大人、他人に対するルール、人・ものに対する「思いやり」を学び、保育士ありのままの子ども姿を受け止めながら、楽しく園生活がおこなわれていることが確認できました。

#### ■0歳児～3歳児の観察

#### ■4歳～5歳の子どもの様子

クラス（年齢）	保育の様子・子どもの様子
0歳児	0歳児の部屋は1歳児の部屋を区切って設けられ、定員3名の0歳児を専任の保育士1名と1名の保育士のサポートにより保育にあたり、保育士は個別に丁寧に対応しています。0歳児は保育生活の中で寝食の占める時間は大きく、遊ぶ部屋と区別して空間の質を高めています。朝の歌の集会では、0歳児もサークルの椅子に座って参加し、月齢の小さい子どももリズムがわかり、歌が始まると、少しお尻を左右に揺らして喜んでいる姿が見られました。食事はテーブルの付いた椅子に座り、専任保育士は一人一人の子どものペースに合わせて食事を提供し、美味しく食べている様子が観察できました。食事後はゆったりと心地良く眠れる環境が確保され、子どもたちは安心して眠りについていました。
1歳児	9時20分から始まる歌の集会に1歳の子どもたちは自分の椅子を持って「よいしょ、よいしょ」と言いながら幼児の部屋に移動します。移動時にはみんなニコニコと笑顔で、これから始まる歌の集会が楽しみの様子が伝わってきます。歌の集会では、大きい子どもたちが歌うのを見て嬉しそうです。また、指揮をとる園長先生の顔を見て、歌える子どもは口ずさみ、小さな体で楽しさを表現していました。10時からは英語の時間が設けられ、1歳児も参加しています。英語の時間は0.1歳児の保育室で行われ、イギリス人の講師により1歳児は2歳児と一緒に英語の歌に合わせて体を動かし、英語の言語に楽しく触れています。寝食は区別してゆったりと空間作りがされており、11時20分頃から食事を行い、12時頃には布団に横になり、

	子どもたちは安心して眠っている様子も確認できました。
2 歳児	2 歳児の保育室は独立して設けられ、2 歳児のプログラムに沿って活動する中、進級を意識した活動を取り入れ、保育士は子どもの主体性の育みに力を入れて保育にあたっています。英語の時間は 3 歳～5 歳児とは別メニューで構成され、0・1 歳児と共に活動し、2 歳児は活発に歌に親しみ、子どもたちは笑顔で楽しんでいる様子が観察できました。
3 歳児	3 歳児～5 歳児は大きな一つの部屋でパーテーションを活用して区別し、3 歳児は 4 歳児と 5 歳児の間をそれぞれ区切って年齢別の保育を実施し、交流が常に持ちやすい体制になっており、全員が集まれるように準備されています。3 歳児は、朝の歌の集会、英語の時間は 4 歳児、5 歳児と共に活動を行っています。体操の時間は 3 歳児のみで行っています。歌の集会では最初ざわつきもありましたが、歌が始まると一斉に集中し、「歌の力」を垣間見ることができる活動であり、3 歳の子どもの集中力にもびっくりしました。活動では大きなおねえさん、おにいさんの真似をしながらも、積極的に参加している姿が見られ、また、遊びでは 2 歳児を受け入れるようお世話をしています。4 歳児、5 歳児とも交流しながら色んなことを吸収しながら成長している姿が見られました。遊びでは、台風が去った次の日でもあり、子どもたちは風の舞う中、保育士に見守られながら元気に園庭で遊んでいました。子どもたちに保育園のことを聞いてみると、「○○ちゃんや○○ちゃんと遊んでいるのが楽しい」、「先生（保育士）は好き」等、遊びに夢中になりながら答えてくれました。
4 歳児	英語の時間では、3 歳児と合同で行い、イギリス人講師のキングズイングリッシュの発音に触れながら絵や物に対して英語で答える遊びを行い、歌を交えて楽しんでいます。英語遊びでは、講師が袋の中に「何か」を入れ、子どもたちに「What's that?」と聞いて英語に親しみながら遊びます。保育長も参加し、「What's next?」と言うと、子どもたちは大きな声で「pig!」と答え、豚の人形を見せると、子どもたちは当たった～と、とても嬉しそうな笑顔を見せています。色の遊びでは、カラーカードを見せて子どもたちが「red」、「yellow」と自然に答えています。英語の歌では、園長が絵を取りだし、「○○の歌」と言うと、子どもたちが歌い始める等、楽しい環境作りの中、子どもたちは英語に触れています。体操の時間では、4 歳児のみの時間を設けて、体操専門講師による指導を受けています。食事は、年齢ごとにテーブルがあり、評価調査日は 4 歳児と一緒にテーブルにつ

	<p>いて食事を摂り、子どもたちは見慣れない部外者に興味を持ちながらも、保育士に時たま促されながら楽しく食事をしていました。遊びでは、晴れた日は日野中央公園が第2園庭のごとく遊んでいます。園庭に設置したプールでのプール遊びでは元気に水に親しみ、夏の暑さに負けないくらい思いっきり楽しんでいました。</p>
<p><b>5歳児</b></p>	<p>5歳児の歌の集会では、歌を覚え、しっかりと歌う姿が印象的で、全部で5曲ぐらい歌い、下の子どもたちのお手本となっていました。英語の時間では、3歳、4歳児よりも内容が少し具体的に進められていましたが、英語の勉強というのではなく英語の言語、異文化に触れることを中心に楽しい時間が構成されており、子どもたちも英語に慣れ親しみ、しっかりとした英語で答えていました。体操の時間では、5歳児のみの時間を設定して、体操専門講師による指導を受けています。食事では当番活動を行い、5歳児の保育室にあるステージに上がり、「今日のご飯は〇〇です」、「それではみなさん、ご一緒に！」と号令をかけ、「いただきます！」の食事の挨拶を行い、みんなの前でしっかり発表しています。3歳～5歳までは同じ保育室であり、寝る場所は3歳、4歳児の場所に掃除をしてからお布団を敷いて寝る場所とし、食事の遅い子どもは5歳児のテーブルに集まってゆっくり食事が摂ることができるよう配慮し、保育士は一人一人の食事のペースを大切に保育をしています。5歳児は少しずつ最年長児としての自覚が生まれ、下の子どもたちのお世話や遊びの譲り合い等、協調性が育まれています。</p>

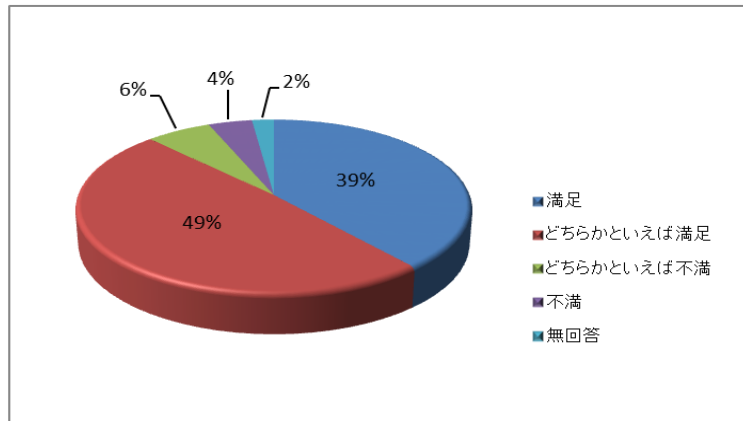
## COSMOS 保育園 利用者アンケートの特徴】

実施年度 / 評価項目手法	28年度 / 横浜市版
アンケート調査対象	COSMOS 保育園利用者家族 (世帯数 62)
有効回答数	49 世帯
世帯総数に対する回答者割合 (%)	79%

0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児
3 世帯	11 世帯	10 世帯	8 世帯	8 世帯	8 世帯

未記入 1 世帯

\*回答があった利用者満足度の内訳 (%)



●利用者アンケートの特徴として、日常の保育内容「遊びについて」の項目が比較的高い満足度を示しています。また、「満足」、「どちらかといえば満足」を合わせて（以下、ほぼ満足）見ると、総体的に平均して「ほぼ満足」であると捉えることができます。『満足』が一番高い項目では、「給食の献立内容について」であり、満足は71%、どちらかといえば満足20%、どちらかといえば不満9%ありますが、ほぼ満足は91%となっています。100%「ほぼ満足」を示している項目では、「自然に触れたり、地域に係るなど園外活動について」であり、満足55%、どちらかといえば満足45%という結果を得ています。また、「お子さんが給食を楽しんでいるか」についても、満足65%、どちらかといえば満足33%、どちらかといえば不満2%で、ほぼ満足は98%になっています。さらに、「お子さんが保育園生活を楽しんでいるか」については、満足63%、どちらかといえば満足35%、不満2%あるものの、ほぼ満足は98%という結果になっています。利用者アンケートの意見からは、園の雰囲気が高く、保育士が優しく、信頼ができ、子どもに良くしてくれることや、子どもも楽しく通っていることに感謝と共に、COSMOS 保育園で良かった、満足しているという声が多く挙がっています。また、近隣の公園で子どもがのびのびと遊び、園庭の物理的な要素を払拭できる積極的な活動に喜びと共に、その様子も写真等でわかる等、安心を委ねられるという声もいただいています。

●「不満」の回答では少数ですが、不満および、どちらかといえば不満を感じる、満足の比較的低い項目については、「年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかにつ



いて」の項目が、満足については22%であり、どちらかといえば満足39%、どちらかといえば不満22%、不満14%、その他2%であり、どちらかといえば不満、不満を合わせて（以下、概ね不満）が36%となっています。また、「意見や要望への対応について」では、満足33%、どちらかといえば満足35%、どちらかといえば不満18%、不満12%、その他2%であり、概ね不満については30%の回答となっています。

「保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応」については、満足35%、どちらかといえば満足41%、どちらかといえば不満が12%、不満については10%、その他2%であり、概ね不満では22%という結果となっています。

利用者アンケートの意見からは、日々の保育、職員の対応については満足している回答の中、さらなる期待として、保護者への説明、理解の促しについての意見や要望があり、教育・学習における要望も少数から意見が挙がっています。また、行事として思い出に残る活動等への意見もいただいています。他、園の保育目標・保育方針について、「よく知っている」という回答は10%でしたので、今後、挙げた意見等も含め、園の方針としての説明、周知の方法、理解への促しについて、振り返りと見直しをする機会と共に、園の良い点をさらに生かし、保護者のより満足・安心につながる保育の継続を期待しております。

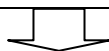
●総合的に、『満足』は39%の支持を頂き、『どちらかといえば満足』は49%、『どちらかといえば不満』6%、『不満』4%、『無回答』2%であり、サービスの内容について、88%『ほぼ満足』していると、捉えることができます。

## 調査結果

### COSMOS 保育園

#### ■ 保育園の基本理念や基本方針について

あなたは、この園の保育目標・ 保育方針をご存知ですか	よく知って いる	まあ知って いる	どちらとも いえない	あまり知ら ない	まったく 知らない	無回答
(人)	5	36	4	4	0	0
(%)	10%	73%	8%	8%	0%	0%



あなたは、その保育目標や保育 方針は賛同できるものだと思いますか	賛同できる	まあ賛同 できる	どちらとも いえない	あまり賛同 できない	賛同でき ない	無回答
(人)	24	14	4	0	0	7
(%)	49%	29%	8%	0%	0%	14%

#### ■ 保育園のサービス内容について

##### 問 2 入園する時の状況について

	満足	どちらかと いえば満足	どちらかと いえば不満	不満	その他	無回答
見学の受け入れについては	18	22	0	0	9	0
	37%	45%	0%	0%	18%	0%
	・見学していない。(8) ・見学を希望しませんでした。					
入園前の見学や説明など、園 からの情報提供については	15	25	5	0	3	1
	31%	51%	10%	0%	6%	2%
	・入園前見学していない。 ・園全体(園庭など)を見学していない。 ・わからない。					
園の目標や方針についての 説明には	14	29	6	0	0	0
	29%	59%	12%	0%	0%	0%

入園時の面接で、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応については	19	26	3	0	1	0
	39%	53%	6%	0%	2%	0%
	・その機会がなかった。					
保育園での1日の過ごし方についての説明には	20	25	3	1	0	0
	41%	51%	6%	2%	0%	0%
費用やきまりに関する説明については	18	25	3	3	0	0
	37%	51%	6%	6%	0%	0%

問3 保育園に関する年間の計画について

「遊び」について

	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答
クラスの活動や遊びについては (お子さんが満足しているかなど)	25	22	1	1	0	0
	51%	45%	2%	2%	0%	0%
	・人数に対して部屋が狭い。					
子どもが戸外遊びを十分しているかについては	28	18	3	0	0	0
	57%	37%	6%	0%	0%	0%
	・園庭が狭いのでしょうかないですが、夕方迎えに行くと外にいるのは3~5歳児のみ。					

園のおもちゃや教材については (お子さんが自由に使えるように 置いてある、年齢にふさわしいか など)	25	20	2	1	1	0
	51%	41%	4%	2%	2%	0%
	・手作りおもちゃがあり、家庭でも作れそうな簡単な物もありすごく良いと思った。					
自然に触れたり地域に係わる などの、園外活動については	27	22	0	0	0	0
	55%	45%	0%	0%	0%	0%
遊びを通じた友だちとの関わり や、保育士との関係については	27	18	3	1	0	0
	55%	37%	6%	2%	0%	0%
遊びを通じたお子さんの健康 づくりへの取り組みについては	22	22	5	0	0	0
	45%	45%	10%	0%	0%	0%

「生活」について

	満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	その他	無回答
給食の献立内容については	35	10	4	0	0	0
	71%	20%	8%	0%	0%	0%
	・とてもよく食べているようで、嬉しいです。					

お子さんが給食を楽しんでいるかについては	32	16	1	0	0	0
	65%	33%	2%	0%	0%	0%
基本的な生活習慣(衣服の着脱、手洗いなど)の自立に向けての取については	26	19	1	2	1	0
	53%	39%	2%	4%	2%	0%
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているか	21	21	4	3	0	0
	43%	43%	8%	6%	0%	0%
おむつはずしは、家庭と協力しお子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	20	22	1	1	4	1
	41%	45%	2%	2%	8%	2%
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まだです。</li> <li>・まだおむつをはずすには早いので、やっていません。</li> <li>・連絡帳などに記載がないため、不明。</li> </ul>					
お子さんの体調への気配りについては	22	22	3	1	1	0
	45%	45%	6%	2%	2%	0%
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護師がいないので不満。</li> </ul>					

保育中にあったケガに関する 保護者への説明やその後の 対応には	17	20	6	5	1	0
	35%	41%	12%	10%	2%	0%
	・何でも万能薬をつけている。					

問5 保育園の快適さや安全対策などについて

	満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	その他	無回答
施設設備については	8	28	9	4	0	0
	16%	57%	18%	8%	0%	0%
お子さんが落ちついて過ごせる 雰囲気については	16	23	8	2	0	0
	33%	47%	16%	4%	0%	0%
外部からの不審者侵入に対 する備えについては	18	26	3	0	2	0
	37%	53%	6%	0%	4%	0%
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・しっかりしていて良いのですが、指認証でアンドも引っかかってしまうことがあり、困った時もあった。</li> <li>・わからない。</li> </ul>					
感染症の発生状況や注意事項 などの情報提供については	12	29	7	1	0	0
	24%	59%	14%	2%	0%	0%

問6 園と保護者との連携・交流について

	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	17	22	4	3	3	0
	35%	45%	8%	6%	6%	0%
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回、時間が足りていない。そのため内容が変更になる。</li> <li>・子どもも一緒にいるので、話が聞けない。</li> <li>・まだ出席したことがないのでわからない。</li> </ul>					
園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については	24	19	3	2	1	0
	49%	39%	6%	5%	2%	0%
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園の様子の写真の掲示が他の園と比べて少ない。</li> </ul>					
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	17	26	2	3	1	0
	35%	53%	4%	6%	2%	0%
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土曜日が多いので土曜勤務をやめた。</li> </ul>					
送り迎えの際のお子さんの様子に関する説明については	20	22	5	2	0	0
	41%	45%	10%	4%	0%	0%
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	16	24	5	3	1	0
	33%	49%	10%	6%	2%	0%
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護師がいないので、薬を預けられない。</li> </ul>					

保護者からの相談事への対応には	17	23	4	3	2	0
	35%	47%	8%	6%	4%	0%
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日中、見ている先生に役所へ面談を勧められた。</li> <li>・連絡帳に記入しても返事が返ってこない。</li> </ul>					
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には	17	21	1	4	4	2
	35%	43%	2%	8%	8%	4%
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まだ、そういう場合がないのでわからない。(3)</li> <li>・自分が遅くなることはないので、わからない。</li> </ul>					

問7 職員の対応について

	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答
あなたのお子さんが大切にされているかについては	28	15	5	1	0	0
	57%	31%	10%	2%	0%	0%
あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては	31	17	0	1	0	0
	63%	35%	0%	2%	0%	0%
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	14	22	1	2	10	0
	29%	45%	2%	4%	20%	0%
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・汚れ物が間違えて入っていた時に、洗わないようになどの説明がない。</li> <li>・知らない。</li> <li>・アレルギー等なし。(2)</li> <li>・よくわからない。(5)</li> <li>・特にないので何とも言えない。</li> </ul>					



話しやすい雰囲気、態度で あるかどうかについては	25	19	4	1	0	0
	51%	39%	8%	2%	0%	0%
意見や要望への対応については	16	17	9	6	1	0
	33%	35%	18%	12%	2%	0%
	・わからない。					

問8 保育園の総合的評価

	満足	どちらかと いえば満足	どちらかと いえば不満	不満	無回答
総合満足度は	19	24	3	2	1
	39%	49%	6%	4%	2%

## 保護者アンケート調査結果（設問別「満足度」総合）

調査対象園舎： COSMOS 保育園      横浜市港南区日野中央 1-18-13

回答世帯数：62 世帯中 49 世帯 <0 歳児(3 世帯)、1 歳児(11 世帯)、2 歳児(10 世帯)、3 歳児(8 世帯)、4 歳児(8 世帯)、5 歳児(8 世帯)、未記入(1 世帯)>

定 員： 63 名

調査期間： 2015/09/10 ~ 2016/08/31

